

令和7年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	家庭	科目名	生活と福祉	単位数	2	履修学年・クラス	3C(食物)
担当者		使用教材	生活と福祉 実教出版				
学習目標	○高齢期にいたるまでの健康づくりについて考えさせるとともに、ライフステージごとの健康管理について、具体的な事例を通して理解する。 ○高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて理解させ、介護予防の考え方にもとづき、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と技術を身につける。 ○地域の高齢者の生活に関心をもち、高齢者と積極的にかかわり、適切な生活支援や介護ができたり、福祉の充実、向上をめざしたりすることのできる能力と実践的な態度を身につける。						
学習方法	○家庭での健康管理の必要性について理解し、看護の基本的な技術や応急手当の方法を実践的に学習する。 ○高齢者の自立生活支援の考え方を理解し、実践的な介護技術を習得する。 ○高齢者福祉の現状を理解し、その在り方について考える。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技術	ライフステージごとの心身の特徴や健康管理について、具体的な事例を通して理解している。また、高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて背景や概要を理解し、介護予防の考え方にもとづき、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識を習得し、実践的な技術が身につけている。				
	思	思考・判断・表現	高齢期にいたるまでの健康づくりについて、さまざまな健康観から考えることができる。また、介護や看護について課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。				
	態	主体的に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域の高齢者の生活に関心をもち積極的ににかかわろうとしている。				
	※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。						

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期 中間	第1章健康と生活	健康に関する諸概念 ライフステージと健康管理	○	○	○	[知] WHO憲章の健康の定義や健康寿命について理解し、ICFなどを利用して自分や人のQOLを高める方策を考えることができる。ライフステージごとの健康課題の達成に必要な技能を身につけている。 バイタルサインの測定や口腔ケアについて必要な看護技術を身につけている。	・授業観察 ・学習ノート ・実習レポート ・考査
	第6章看護の実習	家庭看護の意味 バイタルサインの見方 高血圧と低血圧	○	○	○	[思] 新しい健康管理や看護の重要性について考え、適切に判断している。 [態] 健康管理や家庭看護の必要性に関心、その実践に取り組もうとしている。	
前期 末	第2章少子高齢化の現状と高齢者の特徴	少子高齢化の現状 家族・地域の変化 高齢者の心身の特徴 高齢者の病気 高齢者にみられる主な疾患や症状 高齢者の生活課題と施策	○	○	○	[知] 日本は出生率の低下と死亡率の低下で人口の高齢化が進んでいる国であることと、高齢化率と高齢化の速度が、国際的にどの水準にいる国かを理解している。 [思] 地域の高齢化率や世帯構成の傾向が、どのような背景によるものかを理解し、地域の実情に即した福祉サービスを考えることができる。 [態] 体位変換において尊厳を守る対応ができる。車いすの移動・移乗において尊厳を守る対応ができる。	・授業観察 ・学習ノート ・実習レポート ・考査
	第6章看護の実習	転倒と骨折 誤嚥と窒息 脱水 熱中症	○	○	○		
	第5章介護の実習	体位変換・褥瘡予防・衣服の着脱 車いすの移乗・移動の介護	○	○	○		

後期 中間	第3章高齢者の自立支援	人間の尊厳 高齢者介護の考え方 コミュニケーションと介護	○	○	○	[知] 社会福祉の基本的な考えが、障がいの有無にかかわらず全ての人に向けたものであることを理解している。 介護予防の考え方にもとづいた見守りや支援の重要性について理解している。	・授業観察 ・学習ノート ・実習レポート ・考査
	第4章高齢者支援の法律と制度	社会保障・社会福祉制度のしくみ 介護保険制度のしくみ さまざまな高齢者支援のしくみ	○	○	○	[思] 具体的な制度について理解し、自分や身の回りの人にどのように関わっているかの観点から、必要とあり方について考えることができる。 [態] 食事を楽しみ、豊かな生活を送るための介護の方法を学び、提案できる。	
	第6章看護の実習	地域共生社会 口腔の清潔 誤嚥と窒息	○	○	○	共助の視点で災害支援を考えることができる。	
	第5章介護の実習	食事の介助 災害時の介助	○	○	○		
後期 末	第7章生活支援	生活支援の考え方 レクリエーション 高齢者福祉施設 ボランティア活動への参加	○	○	○	[知] 生活支援の考え方を理解している。 高齢者にととのレクリエーションの必要性について理解している。	・授業観察 ・学習ノート ・調査レポート ・考査
	第6章看護の実習	糖尿病 排泄介助 からだの清潔	○	○	○	[思] 高齢者の生活支援について考え、適したレクリエーション活動を考えることができる。 高齢者を地域で支えることを理解し、自分にできることは何かを考えることができる。 合併症について理解し、高齢期の生活改善の必要と具体的な対応を考えることができる。 [態] 利用者の状況に応じた介助を実践している。	